

好評につき追加開催！

第3回 介護予防普及啓発講演会

きこえと補聴器



参加費無料

令和5年

日時

3月25日（土）午後1:00～午後2:40

会場

オンライン（Zoom）

対象者

川越市の高齢者を支援する関係機関の職員

定員

80名

主な内容

- ✓ きこえの仕組みと難聴
- ✓ 加齢性難聴について
- ✓ 補聴器についての正しい知識
- ✓ 難聴者とのコミュニケーションの工夫

申込方法

申し込みフォームにて受付

【URL】

<https://forms.gle/bYnwwL2ARmRAj6eQ8>

【二次元コード】



講師紹介

岡野 由実 氏

群馬パース大学リハビリテーション学部
言語聴覚学科 講師（言語聴覚士）

福祉施設や耳鼻咽喉科クリニックでの補聴器外来の実践を経て、現職。専門は聴覚障害。地域の聞こえの相談会開催や、専門職への研修などにも取り組んでいる。

【問い合わせ先】

川越市地域包括ケア推進課

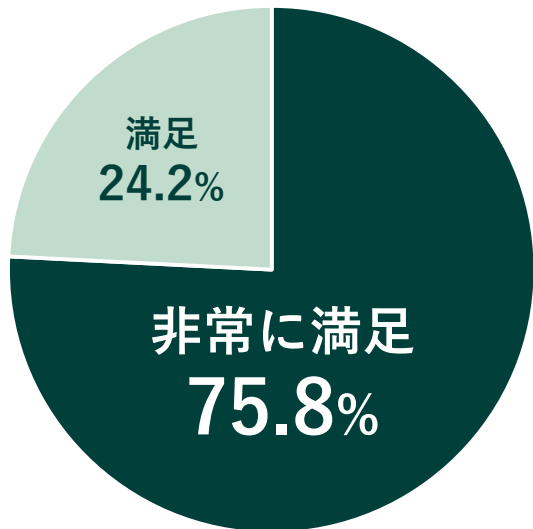
TEL:049-224-6087 FAX:049-229-4382 Mail:hokatsucare@city.kawagoe.lg.jp

【共催】川越市（地域包括ケア推進課・高齢者いきがい課）／川越市地域包括支援センター

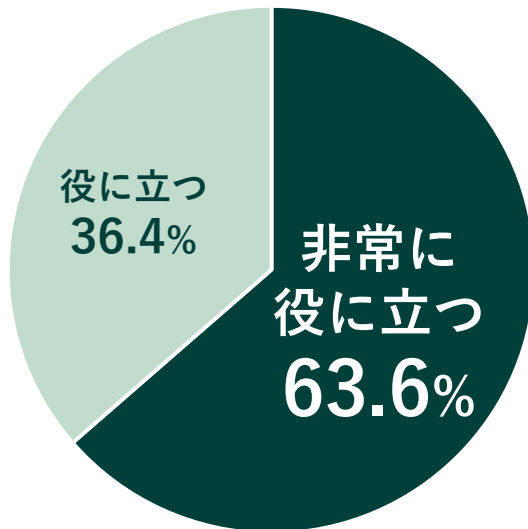
第2回講演会（令和4年12月7日）アンケートより

第2回も主に専門職向けに開催

講演会の満足度



今後の業務に役に立つか



印象に残った言葉、その他意見より抜粋



補聴器、とにかく最初の3日頑張ること。耳栓の形状が重要なんですね。



補聴器の種類から正しい選び方によって、認知症ではないかもしれない、ということに考えさせられました。（目からうろこでした。）



補聴器はハウリングするものではない!…皆が大きくうなずいていました。



大きな声はかえって聞こえにくい、ということは完全に自分の知識不足だったと反省です。



もともとの残存機能を活かす補聴器の使い方という考え方は新しい発見だった。



ちょうど、利用者さんが5万円のポケット型の補聴器、80万円の小さな補聴器を持っており、5万円の方がよく聞こえると言っていた理由がよく分かりました。